

国語総合

受験番号	
氏名	

問1	ア	獲得	イ	服従	ウ	部署	エ	特段	オ	慣習
----	---	----	---	----	---	----	---	----	---	----

問2	a	すじょう	b	つら	c	かなめ	d	いだ	e	じょうせい
----	---	------	---	----	---	-----	---	----	---	-------

問3	ア	3	イ	5	ウ	4	エ	1
----	---	---	---	---	---	---	---	---

問4	A	2	B	2	C	1
----	---	---	---	---	---	---

問5	D	4	E	1
----	---	---	---	---

権力

問7	1	a	2	a	3	c
----	---	---	---	---	---	---

問8 権力関係ではなく、上と下が組み合っている  
関係

問9 独裁的な強さを発揮しにくい  
命令が末端まで届きにくい

問10 帰属意識・仲間意識・外への対抗意識

問11	1	×	2	×	3	×	4	○	5	○
-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

問12 日本社会集団は資格より場を優先し、タテの関係は権力ではなく、上の組み合わせで、大集団は小集団の連続による。また、大集団で、数珠つなぎに構成され、トップの命令が末端までダイレクトに届きにくい。また、帰属意識や、仲間意識、外への対抗意識が、生まれると、組織として、対抗意識が、生まれると、エモーションな結びつきが、重要な要素となり、論

計	問12	問11	問10	問9	問8	問7	問6	問5	問4	問3	問2	問1

# 2021年度一般入試 A日程

## — 傾向と対策 —

### 国語総合

#### 出題のねらい

大学生として必要な読解力と文章力、すなわち、論理的文章を読んで内容や論の組み立てを理解できるか、また、それについての自分の考えを表現する力があるかを問うことを目的として出題しています。ある程度の長さの文章を読んで、文章全体の構成や主旨を正しく理解し、設定された問題に応じて自分の意見をまとめることを要求します。年度によって文学史や文法の知識に関して出題することもあります。

#### 出題形式・内容（分野）について

形式はこの数年変わっておらず、3000～3500字程度の文章とそれについての10前後の小設問で構成された大設問が1題というかたちで出題しています。出題範囲は現代文のみで論説文が多く、とくに文化論や社会学・心理学に関連した文章が多く取り上げられています。2021年度のA日程では中根千枝氏の『タテ社会と現代日本』から出題しました。著者は『タテ社会の人間関係』で知られる社会人類学者です。たくさんの「女性初」を冠した業績を残しています。『タテ社会の人間関係』は1967年に出版された古典的名著と言えますが、本書は2019年に出版されました。欧米やインドと比較しながら日本の「タテ社会」について論じている文章から出題しました。「社会」というと大きな問題のように思われますが、集団が社会であるとするならば、みなさんの周りにも思い当たることがあるでしょう。基本的な漢字の読み、書き、語の補填の問題から内容を問う問題まで、12問を設定しました。まずは正確に文章を読みとっているかを把握することをねらいとしています。漢字に関しては大学生として様々な文献を読みこなしていかなければならないと考え、高校までの学習範囲に限らず、一般的なものをも含めて出題しています。また、論理の展開を踏まえてきちんと内容を押さえていることを確認するための設問を多くしてあります。問12はこの文章のテーマでもある「日本の社会集団と組織の特色」を150字以上200字以内でまとめるという問題です。200字でまとめることは試験時間の中では難しいと感じられるかもしれませんが、最初に問題に目を通したうえでポイントを拾っておき、解答に取りかかれば無理ではないはずです。今回は四つのキーワードを用いることを条件としました。下記の「効果的な学習方法」にも記載していますが、このような指定はどのように答えればいいのかの大きなヒントになります。採点はすべて手作業で行っています。

#### 採点後の感想・効果的な学習方法

「出題のねらい」にも記載したとおり、大学生として要求される基本的な読解と表現の力を問う出題ですので、普段からいろいろな文章を読み、考え、書く習慣をつけておくことが大切です。同時に設問の要求することを正確に読みとり、それに応えていくことも必要です。例えば「抜き出し」なのか、自分の言葉で「まとめ」なのか、何字で書くことを要求されているのか、といった「きかれたことにきちんと答える」という姿勢がもっとも大切です。繰り返し出てくる表現もキーワードとしてしっかり押さえましょう。また、キーワードや字数の指定は「抜き出し」たり「まとめ」たりするための大きなヒントになります。二つや四つという指定があるのにその条件を満たしていない解答も見受けられました。